

二次分析研究会2016 課題公募型研究 成果報告会

わが国における就業と生活行動との関連性についての多角的研究

■ 日時／場所:

2017年3月17日(金) 13:00～17:30

東京大学(本郷キャンパス) 赤門総合研究棟5階 549 センター会議室

■ プログラム:

開会の辞 13:00～13:05 伊藤 伸介(中央大学)

第1部 13:05～14:35

司会: 藤原 翔(東京大学) コメントーター: 永井 暁子(日本女子大学)

(1)「労働時間の類型化とアンペイドワークへのその影響」

仁平 典宏(東京大学)・香川 めい(東京大学)

(2)「余暇時間の構造とその階層差」

佐藤 香(東京大学)・石田 賢示(東京大学)

(3)「世代特性から見た生活行動と生活時間の関連性についての実証分析」

伊藤 伸介(中央大学)

第2部 14:45～15:45

司会: 香川 めい(東京大学) コメントーター: 尾嶋 史章(同志社大学)

(1)「就業構造基本調査データを用いた職業的地位尺度の構築」 藤原 翔(東京大学)

(2)「マイクロクラスでみる現代日本の社会経済的格差の様相」 三輪 哲(東京大学)

第3部 15:55～17:25

司会: 石田 賢示(東京大学) コメントーター: 高橋 康二(労働政策研究・研修機構)

(1)「学卒時の就業状態がその後の収入に与える影響」 水落 正明(南山大学)

(2)「不安定雇用リスクに関する地域間比較分析」 森山 智彦(下関市立大学)

(3)「専門学校学歴の効果における男女差の検討——就業構造基本調査の個票データを用いて」

多喜 弘文(法政大学)

閉会の辞 17:25～17:30

佐藤 香(東京大学)

■ 事前の申し込みは不要です。直接、会場にお越しください。

■ お問い合わせは、s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp まで